

# 小型いか釣り漁業の経営安定推進事業

高坂 祐樹

## 目 的

スルメイカ操業の効率向上のために、スルメイカ漁獲情報管理システム「いかナビ@あおもり」（以下、いかナビ）を2018年から2カ年かけて開発した。しかし、資源量の著しい低下により利用者からの情報が少なく、十分な効果を発揮できていない。そこで、いかナビの利用を促進するために、水揚げ情報表示機能の追加などのシステムの改良を行った。

## 材料と方法

昨年度までに開発したシステムを継続的に運用するとともに、不具合の修正やメンテナンスを行った。

### 1. ユーザー登録

水産振興課から依頼されたユーザー追加を適宜実施した。

### 2. システムの保守・管理

#### (1) 漁獲データの確認

県漁連から送信された元データとシステムで生成された情報を照合し、必要に応じて適宜システムの修正を行った。

#### (2) サーバーのメンテナンス

セキュリティ脅威などによる被害などを防ぐために、随時オペレーションシステムやソフトウェアの更新と修正プログラムを適用、データのバックアップやハードウェアの整備を行った。

#### (3) 利用状況の確認

Googleアナリティクスを用いてサイトの利用状況を把握し、サイトの利用率や部外者のアクセスの有無などをチェックした。

## 結果と考察

2021年度の新規ユーザー発行数は29件であった。年度別・利用種別のユーザー登録者数は表1のとおりであり、システムの運用等関係者分を除いた利用者ユーザーは合計で61となった。

表1. 年度別・利用種別のユーザー登録者数

|       | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 計  |
|-------|--------|--------|--------|--------|----|
| 漁業者   | 8      | 2      | 14     | 27     | 51 |
| 漁業関係者 | 0      | 1      | 7      | 2      | 10 |
| 計     | 12     | 3      | 22     | 29     | 61 |

いかナビWEBサイトのアクセス状況として、県漁連の日計表の配信期間が2021年5月11日から翌年1月7日までであったため、それを全て含む2021年6月1日から2021年12月31日までを集計した。システムの運用等関係者のユーザーを除いて、7ヶ月で6813ページビュー(PV)のアクセスがあり、1日あたり32PVであった。

システムの運用において、県漁連提供の日計表の読み込み時の不具合が今年度も数件確認された。このデータはもともと別用途で作成されたものであるため、データの形式の変更や未登録の水揚げ港の出現な

どにより、不具合が生じたものである。今後、業界などでシステムを運用するのであれば、データ形式の整合性などをあらかじめ定める必要があると考えられる。

事業としては今年度で終了だが、システムが実運用に移行できれば、蓄積した漁業者ユーザーの操業情報と県漁連の日計表データを用いて、漁況予測手法の開発などの研究への活用が期待できる。